

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。


●定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。



●故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

●万一、異常が起きたら

	
変な音・においがしたら、煙が出たら	① 電源を切る ② ACパワーアダプターをコンセントから抜く ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する
	

この製品は、火災や感電の原因となります。必ずお守りください。

⚠ 警告	下記の注意事項を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。
	
火災	感電

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

⊘ 禁止	
禁止	

この製品を海外で使用しない
ACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

	交流100V

雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない
感電の原因となります。

⊘ 禁止	
禁止	



指定以外のACパワーアダプターを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

⚠ 警告	警告表示の意味
⚠ 危険	取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を指示する記号
	
火災	感電
	
禁止	分解禁止
	
火災	感電
	
禁止	接触禁止
	
火災	感電
	
禁止	接触禁止

注意を促す記号	行為を指示する記号
	
火災	感電
	
禁止	分解禁止
	
火災	感電
	
禁止	接触禁止

⚠ 注意	下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
	
注意	

ぬれた手でACパワーアダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。

⊘ 禁止	
禁止	

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

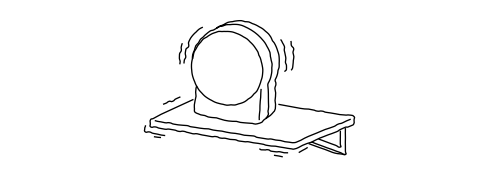
本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⊘ 禁止	
禁止	

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取付場所の強度もじゅうぶんに確認してください。

電池についての安全上のご注意	
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。	
⚠ 警告	<ul style="list-style-type: none">火の中に入れてはいない。ショートさせたり、分解、加熱しない。 乾電池は充電しない。 指定された種類の電池を使用する。 ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
⚠ 注意	<ul style="list-style-type: none">電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。	

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

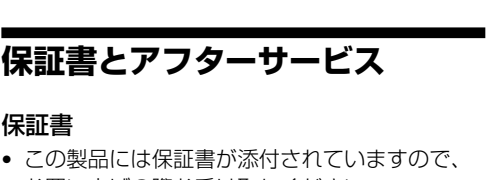
主な仕様	
一般仕様	
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	MIC1 3.7MHz MIC2 3.2MHz
到達範囲	約16m ² （壁、天井で囲まれた空間）
音声信号出力レベル	−53±4dB（0dB=1V/Pa,1kHz）
周波数特性	80～15,000Hz
コードレスマイクロホン IFM-V1	
電源	DC 3V（単3形乾電池x2）
最大外形寸法	約53.4×244mm（直径／長さ）
質量	約200g（アルカリ乾電池含む）
赤外光レーザー IFM-AR1	
電源	付属のACパワーアダプター（OUTPUT: DC 9V、100mA）
出力コード	約3mm×3m（直径／長さ）（金メッキミニプラグ付き）
最大外形寸法	約95×112×58mm（幅／高さ／奥行き）
質量	約190g（出力コード含む）
付属品	
ACパワーアダプター（1）	
プラグアダプター（1）	
取り付けネジ（1）	
単3形アルカリ乾電池（2）	
取扱説明書（1）	
保証書（1）	

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

⚠ 警告	下記の注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
	
火災	感電

⚠ 注意	下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
	
注意	

濡れた手でACパワーアダプターにさわらない

⊘ 禁止	
禁止	

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

濡れた手でACパワーアダプターにさわらない

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。	http://www.sony.co.jp/support
使い方相談窓口	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
フリーダイヤル……………0120-333-020	➡
携帯電話・PHS…一部のIP電話…0466-31-2511	
修理相談窓口	【309】 + 【#】
フリーダイヤル……………0120-222-330	➡
携帯電話・PHS…一部のIP電話…0466-31-2531	
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	
FAX（共通）0120-333-389 受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00	
ソニー株式会社	〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

SONY

3-810-653-03（1）

© 2009 Sony

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

2009年11月現在

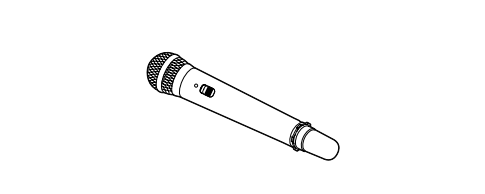
2009年11月現在

▶ 準備

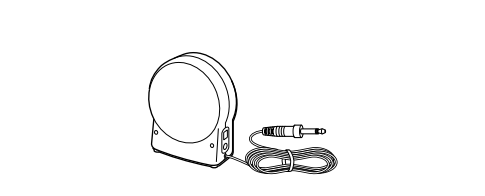
確認しましょう

はじめに内容物の確認をしてください。

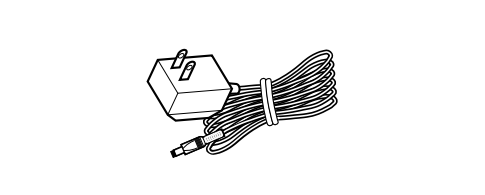
- コードレスマイクロホン



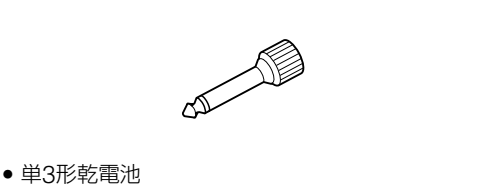
- 赤外光レーザー



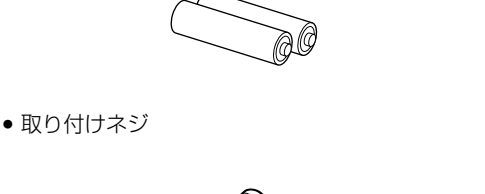
- ACパワーアダプター



- プラグアダプター



- 単3形乾電池



- 取り付けネジ

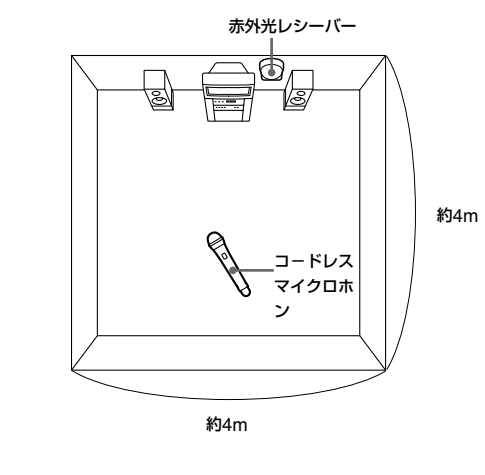


赤外光レーザーを設置する

このコードレスマイクロホンシステムは赤外光を使用しているため、赤外光レーザーの設置位置などによって雑音の影響を受けることがあります。マイクロホンの発光部と赤外光レーザーの間に障害物が入らないようにご使用ください。また、赤外光レーザーは直射日光やスポットライトなどの強い光が当たらない場所に設置してください。

1 赤外光の届く範囲について

このコードレスマイクロホンシステムは、高さが約2.3m、広さが約4m四方（8～10畳）程度の壁と天井で囲まれた室内でお使いください。



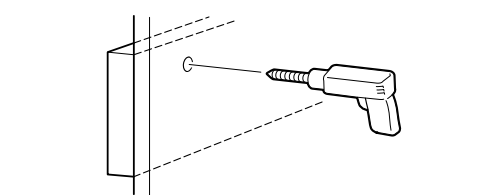
ご注意

- 壁や不透明なガラスなどは、赤外光を通しません。マイクロホンは、必ず赤外光レーザーが直接見通せる位置でお使いください。
- 本システムは、直接光だけではなく壁や天井からの反射光を有効に利用できます。赤外光レーザーを移動させてみて、よりよい受光状態になる位置に設置してください。また、壁や天井の色が暗い場合は受信状態が悪くなる場合があります。

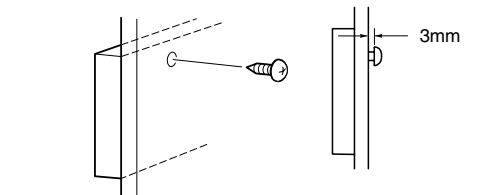
2 赤外光レーザーを壁に取り付ける。

取付の際は、あらかじめ取り付け部の材質や強度をお確かめください。特に石膏ボード・パーチクルボードなど柔らかい材質への取り付けは、十分に補強を行ってください。

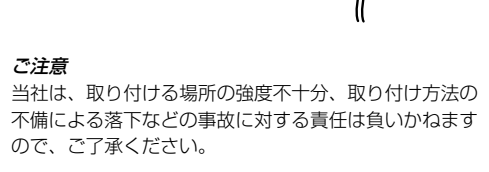
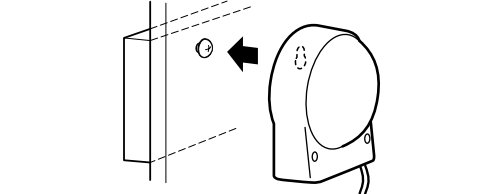
- 取り付け位置を決め、下穴を開ける。



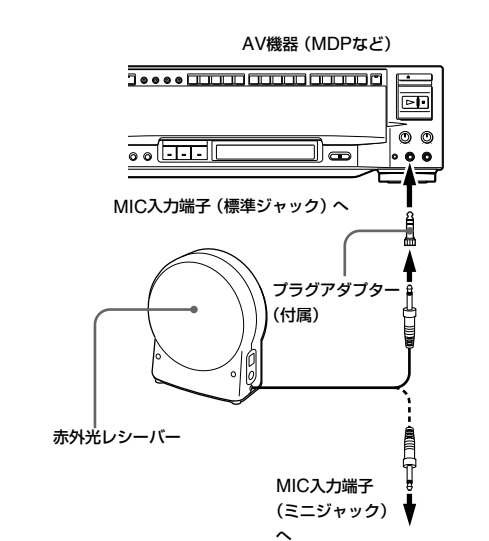
- 下穴に取り付けネジをしめる。ネジ頭が壁面から3mmほど浮くようにしてください。



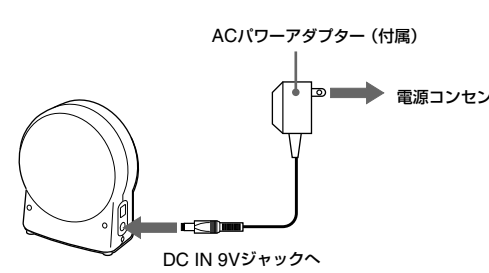
- 赤外光レーザー裏面の穴を、取り付けネジに掛ける。



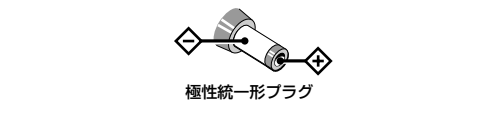
3 赤外光レーザーをAV機器のマイク入力端子につなぐ。



4 赤外光レーザーに電源をつなぐ。



- ご注意**
- この製品には、付属のAC/パワーアダプター（極性統一形プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のAC/パワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。

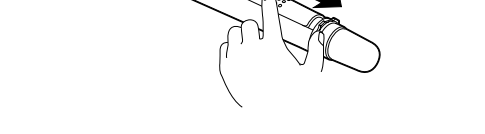
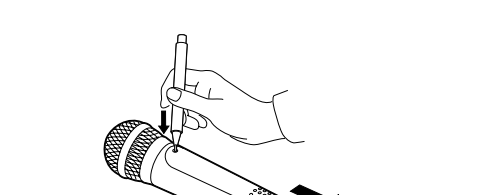


- 製品上のCEマークはEU加盟国で販売されるもののみに有効です。

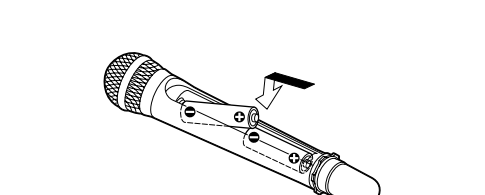
コードレスマイクロホンの準備をする

1 電池を入れる

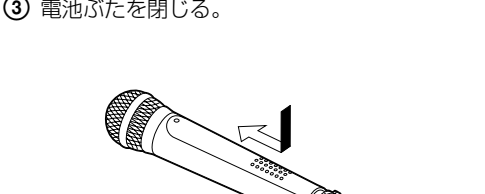
- ボールペンの先などで穴の中を押しながら、電池ぶたを矢印の方向に引く。机の上などに置くと、安定して作業できます。



- 付属の単3形乾電池を入れる。（⊕、⊖の極性を正しく入れる。）

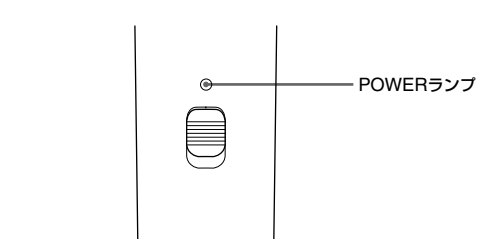


- 電池ぶたを閉じる。



電池が消耗してくると

コードレスマイクロホンのPOWERランプが暗くなり、雑音が多くなってきます。このようなときは電池を交換してください。連続使用した場合は電池の寿命は、単3形アルカリ乾電池で約10時間です。



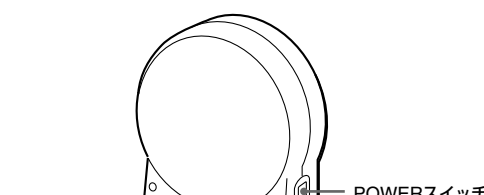
▶ 操作

使いかた

- つないだAV機器の電源を入れる。

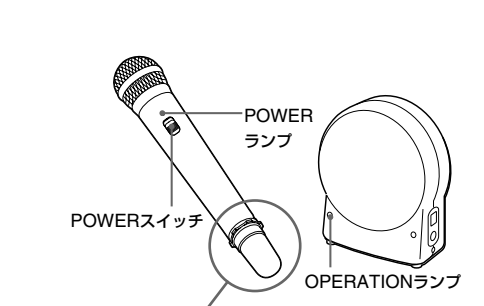
2 赤外光レーザーのPOWERスイッチをONにする。

赤外光レーザーのPOWERランプが点灯します。



3 コードレスマイクロホンのPOWERスイッチをONにする。

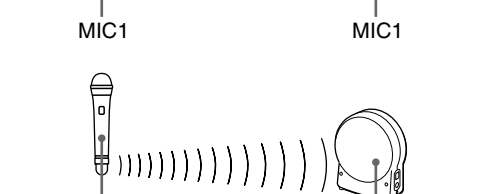
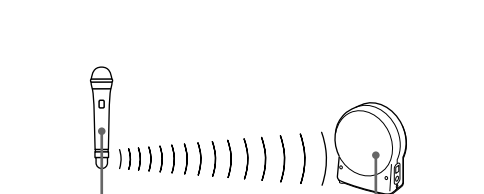
コードレスマイクロホンのPOWERランプと、赤外光レーザーのOPERATIONランプが点灯します。



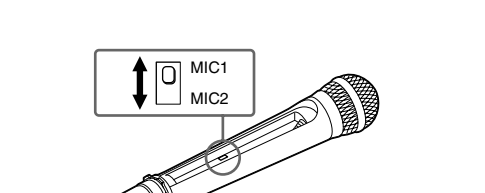
4 つないだAV機器で音量を調節する。

2組のコードレスマイクロホンシステムを楽しむには

MIC入力端子が2つあるAV機器の場合、本システムをもう1組つないで同時に楽しむことができます。この場合、1組の赤外光レーザーとコードレスマイクロホンのチャンネルスイッチはMIC1に、残りの1組のチャンネルスイッチはMIC2にしてお使いください。（チャンネルスイッチはあらかじめMIC1に設定してあります。）

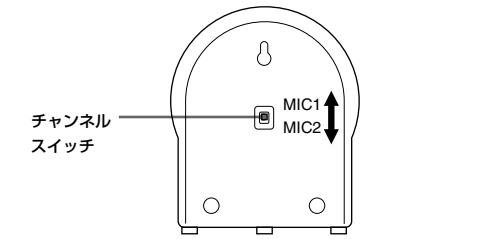


- コードレスマイクロホンのチャンネルを合わせる。電池入れの中にチャンネルスイッチがあります。電池を入れる際、ボールペンの先などで赤外光レーザーと同じチャンネルに合わせてください。



2 赤外光レーザーのチャンネルを合わせる。

赤外光レーザーの裏面にチャンネルスイッチがあります。コードレスマイクロホンと同じチャンネルに合わせてください。



▶ その他

使用上のご注意



屋外では使わないでください

このシステムは赤外光を使用しているため、ご使用になる場所がコードレスマイクロホンから離れるにしがって雑音（ヒスノイズ）が増えたり、また、赤外光がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外光の特性によるもので、故障ではありません。本機は屋外（直射日光下）や太陽光、スポットライトなどの強い光が当たる場所ではお使いになりません。

取り扱いについて

コードレスマイクロホン、赤外光レーザーを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

次のような所には置かないでください

- 直射日光が当たる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所（なるべく5℃～35℃の範囲でご使用ください。）
- 風呂場など、湿気の多い所

汚れたときは

柔らかい布でからぶきしてください。とくに発光部や受光部はいつもきれいにしておいてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液で濡らせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので使わないでください。

異常や不具合が起きたら

- 万一異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- お買い上げ店、またはソニーサービス窓口をお持ちになる際は、必ずコードレスマイクロホンと赤外光レーザー、AC/パワーアダプターを一緒にお持ちください。

故障とお考えになる前に

OPERATION（動作表示）ランプが点灯しない。

- コードレスマイクロホンの電源を入れる。コードレスマイクロホンの電池を2本とも交換する。
- 赤外光レーザーの電源を入れる。
- 赤外光レーザーの接続を確認する。（「赤外光レーザーを設置する」を参照してください。）
- 赤外光レーザーとコードレスマイクロホンのチャンネルを（それぞれMIC1またはMIC2に）合わせる。（「2組のコードレスマイクロホンシステムを楽しむには」を参照してください。）

音が出ない。

- コードレスマイクロホンの電源を入れる。コードレスマイクロホンの電池を2本とも交換する。
- 赤外光レーザーに近づいてコードレスマイクロホンを使う。
- 赤外光レーザーとコードレスマイクロホンの間に、障害物がないか確認する。
- 赤外光レーザーの電源を入れる。
- 赤外光レーザーにつないだAV機器の電源を入れる。
- 赤外光レーザーにつないだAV機器の音量を上げる。
- 赤外光レーザーにつないだAV機器に、スピーカーまたはヘッドホンを接続する。
- 赤外光レーザーとコードレスマイクロホンのチャンネルを（それぞれMIC1またはMIC2に）合わせる。

音がひずむ。

- コードレスマイクロホンの電池を2本とも交換する。

スピーカーから「ピー」と音がる（ハウリングが起こる）。

- コードレスマイクロホンとスピーカーを離す、または向きを変える。

雑音が多い。

- コードレスマイクロホンの電池を2本とも交換する。
- 赤外光レーザーとコードレスマイクロホンの間に、障害物がないか確認する。
- 赤外光レーザーに近づいてコードレスマイクロホンを使う。
- 赤外光発光部を手でおおっていないか確認する。
- 太陽光が赤外光レーザーにあたらないように、窓のカーテンなどを閉める。